



連合長崎

会長 小石 隆

新年明けましておめでとうございます。皆様には健やかな新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

さて、昨年は改めて振り返るまでもなく全ての人に浮かぶのは東日本大震災。私たちがこれまで経験したことのない巨大地震、それに続く大津波、そして原子力発電所の事故でしょう。

被災地では、多くの命が奪われ、そこにあったであろう日々の幸せな暮らしが奪われ、今なおその悲しみ、苦しみは重く押し掛かっています。尊い人を亡くした悲しみは10ヵ月程度の時間の経過で癒えるものではありませんが、少なくとも我が国が復興への道をスピード感を持って確かなものにするのが被災者・被災地への何よりの支援であろうと考えます。一日も早く心穏やかな日常が戻ることを希うものであります。

連合長崎の昨年の取り組みにおいて皆様には多くのご支援を頂きましたが、中でも大震災後の選挙自粛ムードさらには民主党への逆風下で戦われた統一自治体選挙に対する熱いご支援に対し衷心より御礼を申し上げます。

明けて2012年。連合・連合長崎にとっては多くの課題に取り組み、挑戦していかなければなりません。その運動の基軸は「働くことを軸とする安心社会」の実現にあります。年収200万円以下の層が急増し、勤労者の実に4人に1人その数1045万人、加えて「雇用の質の劣化」により3人に1人は非正規社員という実態にあります。内憂外患の中で、どう経済と社会の再生を図るのか2012春季生活闘争の課題は大きくかつ重いものがあります。日本経済が安定成長するには内需拡大が喫緊の課題です。そのためには失われた賃金の回復、そして中小労働者や非正規労働者の底上げと格差是正が不可欠です。



謹賀新年

2012年1月

第10回フォトコンテスト最優秀作品  
「アツチツツ (精霊流し)」松尾 泉 (長崎県職連合OB)

一昨年の8月30日、高揚感の中で新たな国づくり、社会づくりへ踏み出しから2年余りが過ぎ、政権交代ならではの出来事があった反面、これまでの自民党政治の負の遺産やネジレ国会、更には民主党の未熟さもあって、残念ながら失望感を感じていられる方も多いと思います。

だがしかし、大震災以前から日本社会が直面していた少子超高齢化、危機的な国家財政等約半世紀の保守政治の中で溜まった膿、残滓を取り去り、新たな社会を築くには今少しの時間が必要とも思うところであり、したがって政府・民主党には国民の期待に応えるため一体となって今一步二歩の奮起を強く期待します。

私たちは、今回の大震災を通じ、支え合い助け合うことの大切さ、人と人との繋がり、絆の大切さを学びました。更には、一人一人は微力ですが組織として結束して行動すれば大きな力になることも学びました。まさに労働組合の原点とも言えるものであります。現在未組織の労働者が職場の8割を占めている中であって、私たちには「全ての労働者・生活者」の視点が求められています。連合長崎はローカルセンターとしての役割と責任を自覚し、組織一丸、希望を持ってがんばりましょう。

皆様の旧に倍するご支援を切にお願いすると共に、2012年が良き年になりますようご祈念申し上げます。



日本労働組合総連合会  
会長 **古賀 伸明**

新年を迎え、2012年が皆様にとって安らかで実りのある年となるようお祈り申し上げます。

昨年を振り返る時、3月11日の巨大地震、それに続く大津波、そして福島第一原子力発電所事故を忘れることはできません。この大震災からの復興・再生に全力を尽くすことが、連合に与えられた第一の使命です。亡くなられた方々にあらためて哀悼の意を表するとともに、被災者の皆様が一日も早く穏やかな生活を取り戻すよう、全力で取り組むことをお誓い申し上げます。

誰もが働くことで社会に参加し、社会的にも経済的にも自立し、人と人との絆を強めていく——私たちが「働くことを軸とする安心社会」で提起したことが、今まさに被災地で求められています。被災地のすべての人にディーセント・ワークを保障することが、日本の再生に向けた一歩です。「復興・再生に全力を尽くし、『働くことを軸とする安心社会』につなげる」決意を申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



衆議院議員  
**高木 義明**

明けましておめでとうございます。皆様には、ご家族お揃いで、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、文部科学大臣在任中も含め、何かとご支援とご厚情をいただき、深く感謝いたします。

さて、当面の課題は、東日本大震災からの復旧・復興とともに、長期化するデフレからの脱却であり、それには積極的な経済政策の展開と、新成長戦略などを強力に推進することです。

あわせて、将来を展望した社会保障の全体像の提示と、税制面も含めた負担のあり方などの国民的合意を得る努力を尽くさねばなりません。

今年は辰（龍）年、ご家族皆様にとって「昇り龍」のように上昇の年となりますことを祈念いたしますとともに、変わらぬご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。



衆議院議員  
**福田 えりこ**

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は皆様から心温まるご支援をいただき、本当にありがとうございます。

さて昨年は、東日本大震災、原発事故という国難がありました。発災直後から現場に足を運び、被災地ごとに異なるニーズを国に届けてきました。また、特に原発作業員の安全と健康を守る活動に力をいれて取り組んできました。

連合の皆様には義捐金、ボランティア活動に連合を挙げて取り組んでいただき、本当に心強く思いました。

今年は、一刻も早く被災地の皆様が当たり前の生活ができるよう、復旧復興に全力で取り組んで参りたいと思います。

また厚生労働委員として、働く仲間の環境と暮らしを守る政策の実現や、子ども手当、年金、社会保障制度整備といった福祉問題に取り組んで参りました。

地元の皆様に温かくご指導をいただきながら、皆様のご要望をお聞きし、「支え合い共に生きる社会」の実現をめざして頑張っ参りたいと思います。

本年もご支援、ご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



衆議院議員

山田 正彦

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、東日本大震災で多くの尊い生命が絶たれました。また、国の形を変えるTPP議論に関しては、私自身先頭に立ち、微力ながら皆様に情報を発信出来たものと実感しております。まさに「政治主導」たる政治と政治家の本質が問われる一年でありました。

今だ景気の先行きが不透明な中、地元を支えておられる企業の働く仲間たちが安心して生活を送れるような制度を確立することが、政権与党に対する国民の期待に応える唯一の手段であります。

そして、今なお、大震災の影響で、避難生活を余儀なくされ、放射能の見えない恐怖に不安な日々を過ごされている被災地の皆様がいることは、決して忘れてはなりません。

政治に課せられた重大な責務を果たすため、今年もご支援頂く諸団体と連携を密にしながら、政権交代時の原点に立ち返り、政策を着実に実現し、国民の負託に応えるため全力を尽くしてまいります。

新しい年が、皆様にとりまして、希望に溢れる年となりますよう、心より祈念申し上げます。



衆議院議員

宮島 大典

新年明けましておめでとうございます。

皆様には2012年の初春をお健やかに迎えの心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年は東日本大震災という未曾有の大災害が発生し、我が国は国難に直面しました。被災地の復旧・復興並びに原発事故の終息に全力を挙げ、今尚不自由な生活を余儀なくされている被災者の皆様が一日も早く元の暮らしが営める様、

これからも国を挙げて対策に取り組まなければなりません。

また、全国的な雇用状況は予断を許さず、円高デフレ対策を始めとする景気対策を断行し、雇用の安定確保に努めなければなりません。

他にも、社会保障制度改革、財政再建、行政改革、選挙制度改革…等々、山積する課題は数多くかつ大きな問題ばかりですが、先送りばかりしてきた過去の政治の反省に立ち、今こそ正面からこうした問題に果敢に取り組み、国民、特に働く仲間の皆様が安心して暮らせる世の中を創るべく懸命に頑張っております。



衆議院議員

川越 孝洋

あけましておめでとうございます。

昨年は東日本大震災、台風10号による紀伊半島を中心にした水害、海外に目を転ずれば、トルコ大地震、タイ大洪水と自然の大いなる力の下に人間の非力さを知らされた年でありました。

被災された方々には心よりお悔やみ申し上げます。

一方、それに対しボランティアによる救護活動やカンパなどの支援活動を通して、人の心の温もり・絆を

確認できた年でもありました。

連合長崎の皆様にも汗を流して頂き、心より感謝申し上げます。

一方政治の方は、閣僚の不適切な発言などあり、皆様に御心配をおかけしてしまったことを心よりお詫び申し上げます。

今年は復興の槌音が高く響く年としなければなりません。

皆が元気で笑って暮らせる社会を築くために、私も政治の場で微力を捧げて参ります。

この一年、ご家族揃ってのご健勝をお祈りと共に、民主党も「国民の生活が第一」で頑張りますので、変わらぬご支援をお願いし、年頭のご挨拶といたします。



参議院議員

大久保潔重

新年明けましておめでとうございます。

連合長崎の皆様におかれましては、それぞれの気概や抱負を胸に、新しい年をお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。

皆様にお支え頂いての国会活動も早いもので4年半が経過しました。僭越ながら参議院内閣委員会の与党筆頭理事として、また民主党副幹事長として陳情要請対応本部の任を仰せつかっております。昨年末は24年度予算

や税制、TPPや社会保障と税の一体改革などの党内論議に参画し、特に県政の重要課題には県選出国會議員の皆様と連携しながら積極的な取り組みを進めてまいりました。

国内の状況は円高、デフレなどで景気や雇用にまだまだ不安を抱えております。そんな中、旧年3月11日に発災した未曾有の東日本大震災からの日でも早い復旧・復興と福島第1原発の収束を最優先課題に、国民生活向上、manifestoの確実な実行に向け、しっかり頑張っておりますので、今後ともご指導、ご支援を賜りますよう宜しく申し上げます。

本年が皆様にとりまして飛躍の年となりますよう、併せて組織のご発展を心から祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。



長崎県退職者団体連合会長  
**川村 力**

親愛なる連合長崎の皆様！新年あけましておめでとうございます。

旧年中は長退連の諸活動に対し物心両面のご支援とご協力を頂き、①学習会と東日本大震災救援カンパ活動 ②統一地方選への取り組み ③親睦交流・グランドゴルフ ④県知事および民主党国会議員に対する高齢者の政策要請行動などに

取り組み一定の成果を上げることができました。今年、2月に長退連総会を開催し活動方針、予算、役員改選を行い新年度のスタートをきる予定ですが！

今、私達高齢者（年金生活者）は「増税」と「年金減額」のダブルパンチで痛めつけられようとしています。「年金減額」や「消費税増税」をやるまえに、徹底した行政のムダ削減と国会議員の定数削減を野田総理に強く求めたい。

終わりに、連合2012春季生活闘争のご成功と皆様のご活躍ご健勝をお祈りし私のご挨拶とさせていただきます。



長崎県知事  
**中村 法道**

新年明けましておめでとうございます。

県民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本県では、昨年、新たな「長崎県総合計画」をスタートさせ、「人が輝く、産業が輝く、地域が輝く長崎県づくり」の実現を目指し、様々な施策に取り組んでおります。今年も一つ一つの課題に正面から向き合い、少しでも多くの成果を県民の皆様にお示しできるよう努めてまいります。

具体的には、雇用や所得向上につながる力強い経済を実現するため、大型客船の建造受注も踏まえ、企業間連携の促進と産学官に金融機関を加えた支援体制による地場企業の競争力強化をはじめ、農水商工分野の連携と県産材料の利用拡大による県内食品加工業の付加価値向上、そして、「ナガサキ・グリーンニューディール」の推進による、次世代環境エネルギー分野や医療・福祉分野における事業創出、さらには、企業誘致の推進や本県の強みを活かした中国・アジアとの交流拡大などに取り組んでまいります。

加えて、「地域発の地域づくり」の支援による県全体の活力の創出などに積極的に取り組み、県民の皆様と力を合わせ、本県の未来を切り拓いてまいりたいと考えておりますので、ぜひ皆様方の、県政への積極的なご参画をよろしくお願いいたします。

結びに、本年が、皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

## 原爆ドーム15周年

原爆ドーム世界遺産登録15周年記念行事実行委員会（「連合広島」など12団体で構成）は12月3日（土）、「原爆ドーム世界遺産登録15周年記念行事」を開催し、連合長崎から小石会長をはじめ4人が出席しました。

広島国際会議場「ヒマワリ」で開催された式典には、約400人が参加。冒頭、実行委員会を代表して、伊丹幸男実行委員長（連合広島会長）が挨拶に立ち「世界遺産登録に携わった方々の平和を思う願いを私たちが受け止め、次世代に継承するとともに、人類が二度とあやまちを犯さないために、私たちは連帯の輪を広げ、この原爆ドームを平和のシンボルとして残していかなければならない。」と訴えました。

続いて来賓挨拶の後、原爆ドーム永久保存に向けた寄付金の贈呈、「新潟県原爆被害者の会」山内悦子事務局長より被爆体験講話、「原爆ドームに関する作文コンクール」表彰、「第14代高校生平和大使」下岡三都穂さん（広島県立可部高等学校3年生）より活動報告を行いました。

式典の後、原爆ドーム慰霊碑前にて平和アピール行動を開催し、約80人が参加しました。実行委員会・来賓の代表者による献花及び献水の後、平和アピールとして「原爆の悲劇を繰り返してはならない、その思いを次世代に向けて語り継ぐことを誓う」ことを参加者全員で確認し、平和アピール行動を終了しました。



原爆ドーム



参加者全員で黙とう

「生きるための保障」

# 生きる安心タイプ

## 月々の掛金：2,500円

(満15歳～満59歳の健康な方が加入いただけます)

安心して生きていく。自分も、家族も。

# こくみん共済

個人定期生命共済・こども定期生命共済・熟年定期生命共済・傷害共済・終身生命共済・個人長期生命共済



保障のことなら

## 全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。 7911 S 095

全労済長崎県本部（長崎県労働者生活協同組合）

〒852-8016 長崎市宝栄町3番15号

■お問い合わせ (095)864-6031

■ホームページ <http://www.zenrosai-nagasaki.coop>

# 九州ろうきんの ツカエルローン

取扱期間 2011年11月1日(火)～2012年1月31日(火)

金利・固定金利型

ご返済期間 5年(60回)以内

ご融資金額 300万円以内

# 年1.99%

〔別途保証料年0.7%または1.2%〕

他行・他社ローンの借換えにツカエル!!

忙しい人も安心!



ホームページでローンの仮審査お申込みができます!

気軽に相談できる!

平日時間外・休日  
ローン相談会開催中!自動車の  
購入資金に!お子さまの  
教育費用に!住宅リフォーム  
資金に!家具・家電の  
購入資金に!

◎くわしくは、九州ろうきんホームページまたは店頭の商品概要説明書でご確認ください。◎ご融資金利はお申込日の金利ではなく、お借入日の金利が適用となります。◎お借入後に返済方法(返済額・返済期間など)を変更される場合には手数料(税込5,250円)がかかります。◎ご返済額の試算はお気軽に(ろうきん)まで。パソコンや携帯電話から九州ろうきんホームページの「ローンシミュレーション」もご利用いただけます。◎融資には審査がございます。審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

## 期間限定、このチャンスをお見逃しなく。

ありがとう10周年  
10<sup>th</sup>  
Anniversary

九州ろうきん

九州ろうきん

検索

<http://kyusyu.rokin.or.jp/>

— 新年あけましておめでとうございます —



副会長  
近藤 富彦  
(自治労)



副会長  
江口 茂広  
(基幹労連)



副会長  
渡邊 昭吉  
(UIゼンセン同盟)



副会長  
若杉 忠幸  
(J P 労組)



副会長  
田端 康弘  
(電力総連)



副会長  
宮崎 辰弥  
(情報労連)



事務局長  
森 光一  
(基幹労連)



副事務局長  
佐竹 明彦  
(自治労)



副事務局長  
松井 利明  
(自治労)



副事務局長  
浦本 和明  
(基幹労連・佐世保地協)



副事務局長  
芳川 孝太郎  
(電力総連)



副事務局長  
入江 良美  
(交通労連・長崎地協)



執行委員  
松尾 悟  
(サービス・流通連合)



執行委員  
関山 明彦  
(自動車総連)



執行委員  
太田 清  
(運輸労連)



執行委員  
益満 政彦  
(電機連合)



執行委員  
上川 剛史  
(日教組)



執行委員  
藤澤 恒昌  
(全駐労)



執行委員  
野原 秀昭  
(交通労連)



執行委員  
藤川 直樹  
(海員組合)



執行委員  
富永 一夫  
(都市交)



執行委員  
山田 充哉  
(自治労連)



執行委員  
田島 広明  
(私鉄総連)



執行委員  
江副 敏彦  
(JR連合)



執行委員  
寺田 末人  
(全自交労連)



執行委員  
嶋 三郎  
(国公総連)



執行委員  
岩永 財  
(全国ガス)



執行委員  
高 靖文  
(長崎私交通)



執行委員  
峰 義彦  
(長崎地協)



執行委員  
菊永 昌和  
(佐世保地協)



執行委員  
東 隆司  
(諫早地協)



執行委員  
岩口 修  
(大東地協)



執行委員  
松本 久美  
(女性委員会・自治労)



執行委員  
白倉 あけみ  
(女性委員会・日教組)



会計監査  
太田 吉弘  
(日教組)



会計監査  
川田 隆往  
(電機連合)



会計監査  
倉田 昌明  
(都市交)



書記  
深江 絵美  
(連合長崎)



書記  
草野 いづみ  
(連合長崎)



書記  
本郷 栄子  
(佐世保地協)

2012年  
みなさんとともに  
頑張ります!  
よろしくお祈いします

